

# 人生100年時代の社会人基礎力 (仮称) アンケート調査結果

平成30年3月 産業人材政策室

# 調査結果の概要

#### 1. 「3つの原則」関連

- ① 何を学ぶか
  - 働き手の「理想のキャリアパス」と「学び直す内容」 (スペシャリスト志向にも関わらず、「趣味・生活に関する学び」を志向)や、企業と働き手 (「生涯を通して新しいスキルと専門技能を獲得しつづけること」に対する認識)の間にギャップがある。

#### ② どのように学ぶか

- 働き手の半数は**兼業・副業や出向などの越境体験に前向き**(独立志向は低い)。
- 働き手が考える学び直し始める理想の年代は「30代以前」」。一方、30代・40代は、「労働時間が長い」」・「費用負担が難しい」ことが、学び直しの課題と考えており、環境整備が必要。

#### ③ どう活躍するか

- • 「実現したい仕事」や「キャリアへの希望」があるのはわずか半数。

  希望がない理由は、「気持ち・時間の余裕がない」が3割ずつ、「考え方ことがない」が2割。
- キャリアを企業に依存できないフリーランスは「<mark>セルフブランディングカ</mark>」が高い。

#### 2. リフレクション

- 7割以上が「キャリアやスキルを棚卸しした経験がない」。
- 自己認識する「知識・スキル」が高い人は、「学習意欲」も「仕事満足度」も高い。

#### 3. 企業と個人の関係

● 企業は働き手に対し、キャリア形成支援により「成長が促され」、「エンゲージメントが高まる」ことを期待。一方で、働き手の半数近くは「企業の取組に満足していない」。

# 今回の調査の全体像

○潜在的転職者向けアンケート

調査主体:経済産業省(委託調査)

調査対象:転職に関心があるが未経験の

30代~50代

調査時期:平成29年10月

調査方法:ウェブアンケート調査

回収数 : 1,307名

○リカレント教育に関する実態調査

調査主体:経済産業省(委託調査)

調査対象:30代~50代の社会人(高卒以上)

調査時期:平成30年1月

調査方法:ウェブアンケート調査

回収数 : 10,800名

# ○経営革新と「稼ぐ力」の向上に向けた仕事とキャリアの管理に関する調査研究

調査主体: (一社)企業活力研究所

調査時期:平成29年12月

調査方法:ウェブアンケート調査

調査対象:

大企業部長職

(ホワイトカラーの上長)

回収数 : 206名

調査対象:

大企業ホワイトカラー

(大卒以上)

回収数 : 618名

○フリーランス白書(フリーランス実態調査)

調査主体: (一社) プロフェッショナル&

パラレルキャリアフリーランス協会

調査時期:平成29年12月

調査方法:ウェブアンケート調査

調査対象:

フリーランス

回収数 : 1,444

名

調査対象:

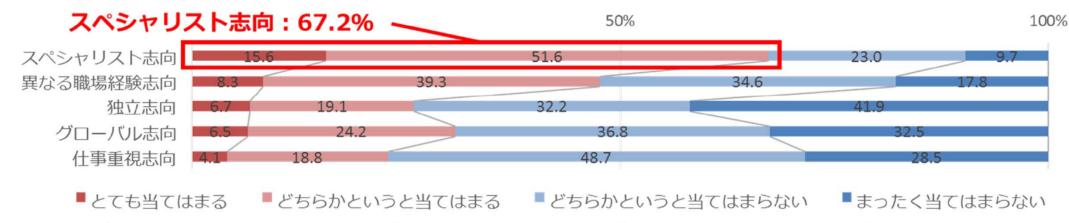
会社員

回収数 : 2,000名

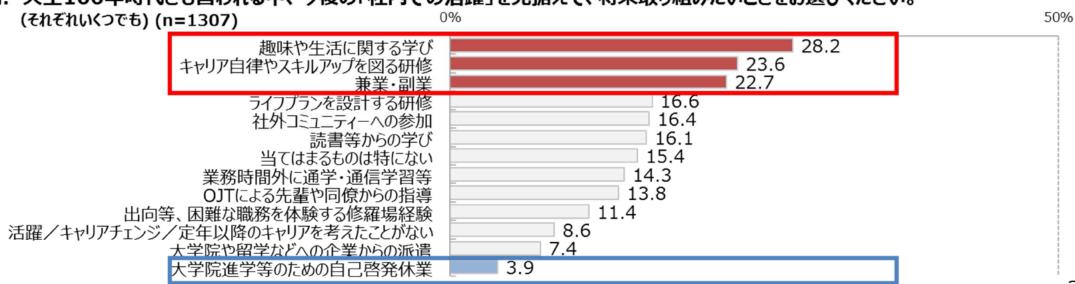
## 何を学ぶか 働き手自身の「理想のキャリアパス」と「学び直す内容」にギャップが存在

働き手の約7割が「スペシャリストを志向」しているにも関わらず、今後の「社内での活躍」を見据えて、将来取り組みたいこととして「趣味や生活に関する学び」が最も多く、「大学院進学等のための自己啓発休業」は最も少なくなっており、働き手自身の「理想のキャリアパス」と「学び直す内容」にギャップが存在。

#### 問. あなたのキャリアパスに対する考えについて教えてください。(当てはまるものそれぞれ1つずつ) (n=1307)







出所:平成29年度産業経済研究委託事業(労働市場における最新技術の活用状況と企業動向等に関する調査)(経済産業省)

#### 何を学ぶか 企業と働き手の「学び直す内容」にもギャップが存在

 企業も働き手も「知識を活用して経験を生む」や「生活習慣や仕事上のストレス管理」を重視しているが、「生 <u>涯を通して新しいスキルと専門技能を獲得し続ける」こと</u>については、企業は重要視しているのに対して、相対 的に働き手は重要視していない。

問)企業向け:「人生100年時代」とも言われる長寿化する社会において、従業員(正社員)が、

次のようなキャリア意識を持つことは重要だと思いますか?

問) 従業員向け : 「人生100年時代」とも言われる長寿化する社会においての長期にわたるキャリア形成について、

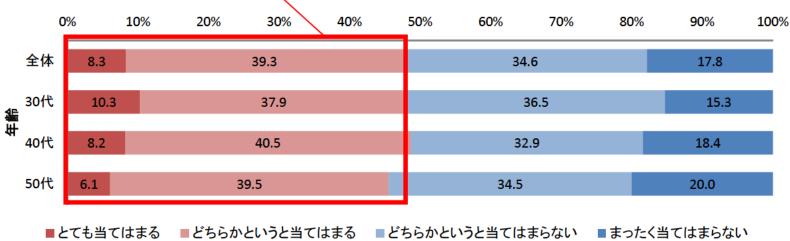
次のようなキャリア意識を持つことは重要だと思いますか?

	重要だと思う		まあ重要だと思う あまり重要だと思わな	し 重要だと思わない •	J	
		n≢∜			(96)	平均点
【企業向け】	知識の獲得だけでなく獲得した知識を活用し、 経験を積む	(206)	48.1	48.1	3.9	1.40
	健康や明晰な頭脳を保つため、生活習慣や 仕事上のストレス管理に気をつける	(206)	45.1	51.0	2.9 1	0 1.36
	生涯を遇して新しいスキルと専門技能を 謹得し続ける	(206)	43.2	50.5	5.3 1	0 1.30
	幅広い知識と見方を得るために、幅広い人々との 関係を深める時間を確保する	(206)	40.3	51.9	7.3 0.	5 1.24
	社内だけでなく社外からも評価される実績を 確立する	(206)	40.3	49.5	9.7 0.	5 1.19
	活力や行動に移す前向きな姿勢を維持するため、 前向きな人速とのネットワークを持つ	(206)	34.5	56.8	8.7	1.17
	今身につけている能力のみを頼りに 今後も生き抜けるとは考えにくい	(206)	33.5	57.8	8.7	1.16
【従業員向け】	健康や明晰な頭脳を保つため、生活習慣や 仕事上のストレス管理に気をつける	(618)	40.6	51.6	6.6 1	1 1.24
	知識の <b>遵得だけでなく遵得した知識を活用し、</b> 経験を積む	(618)	35.6	56.8	6.8 0	8 1.20
	幅広い知識と見方を得るために、 幅広い人々との関係を深める時間を確保する	(618)	28.2	61.3	8.7 1.	8 1.05
	社内だけでなく社外からも評価される実績を 確立する	(618)	<b>32.0</b> Ethichelichelich	54.4	12.6 1	0 1.04
	生涯を通して新しいスキルと専門技能を 嫌編1、練ける	(618)	27.0	62.1	9.2 1	6 1.04
	活力や行動に移す前向きな姿勢を維持するため、 前向きな人団とのネットワークを持つ	(618)	28.8	57.0	13.3 1	0 0.99
	今身につけている能力のみを頼りに今後も 生き抜けるとは考えにくい	(618)	26.1 (1991) (1991) (1991) (1991)	57.9	14.6 1.	5 0.93

## どのように学ぶかどの年代も、「兼業・副業志向」は高く、「独立志向」は低い

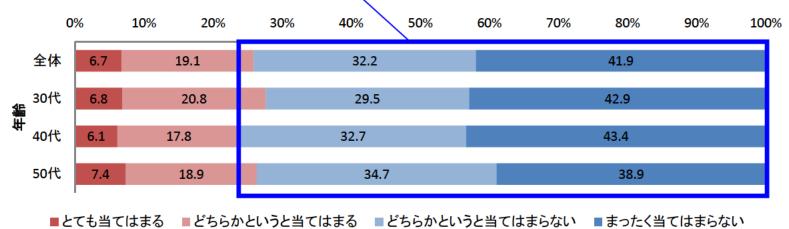
#### 問. 兼業・副業などの異なる職場経験をしたい





#### <u>問. いずれ独立したい(会社をつくる、フリーランスになるなど)</u>

#### 各世代とも概ね4分の3が後ろ向き

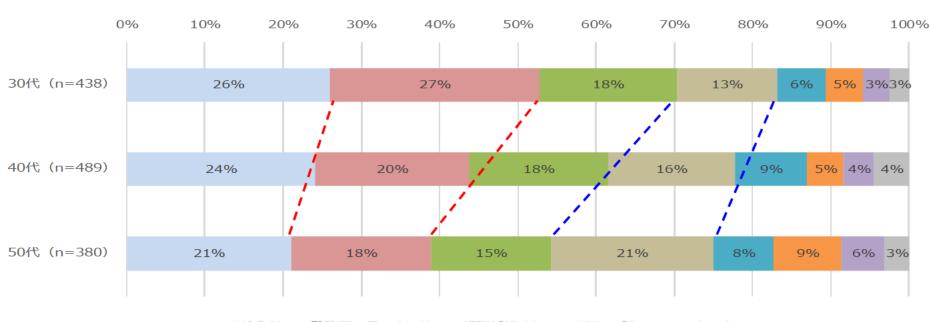


出所:経営革新と「稼ぐ力」の向上に向けた仕事とキャリアの管理に関する調査研究((一財)企業活力研究所)

## どのように学ぶか 転職で最も不安なことは年代別に異なる

- 年代が低いほど(30代)、入社後の待遇についての不安が高い傾向にある。
- 年代が高いほど(50代)、自分の専門性が活かせるかどうか不安が高まる傾向にある。

#### 問. 転職(実行)に対する不安について、お答えください。[最も不安に思うもの(当てはまるもの1つ)](n=1307)



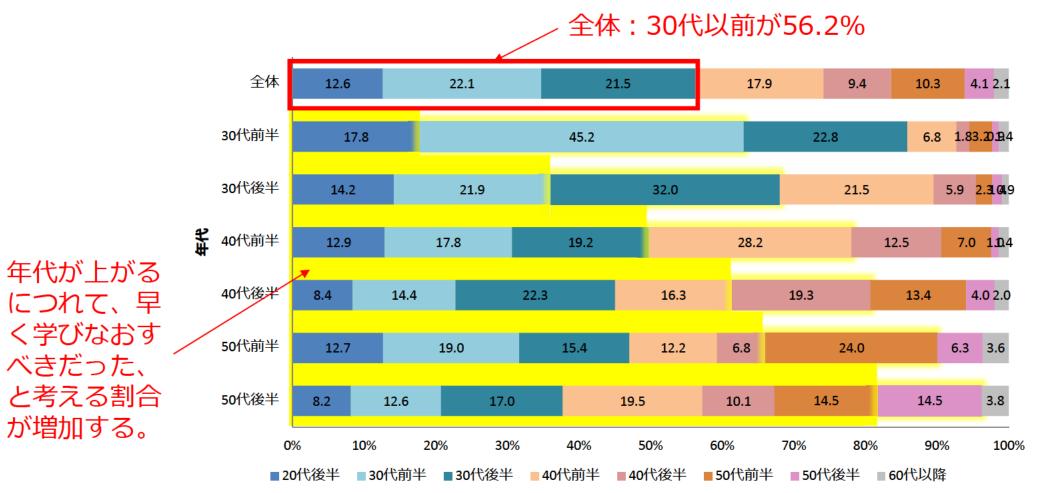
- 中途入社は、勤務歴の長い人に比べて報酬が低くなる・出世しづらいのではないか
- 賃金や残業時間等の待遇が事前に示されていたものと違うのではないか
- 転職先の同僚や関係者との関係がうまくいかないのではないか
- 自分のスキルや知識が十分に活かせないのではないか
- 転職先の社風に合わないのではないか
- 解雇や倒産などの不安があるのではないか
- 転職が自身のキャリアアップに役立たないのではないか
- その他

出所:平成29年度産業経済研究委託事業(労働市場における最新技術の活用状況と企業動向等に関する調査)(経済産業省)

## どのように学ぶか 働き手が考える「学び直し」を始める理想年齢は「30代以前」

- 人生100年時代に**学び直し始める理想年齢は、30代よりも前が半数以上**。
- 年代が上がるにつれて、自分の年代よりも「早く学び直したかった」と考える割合が高くなる。

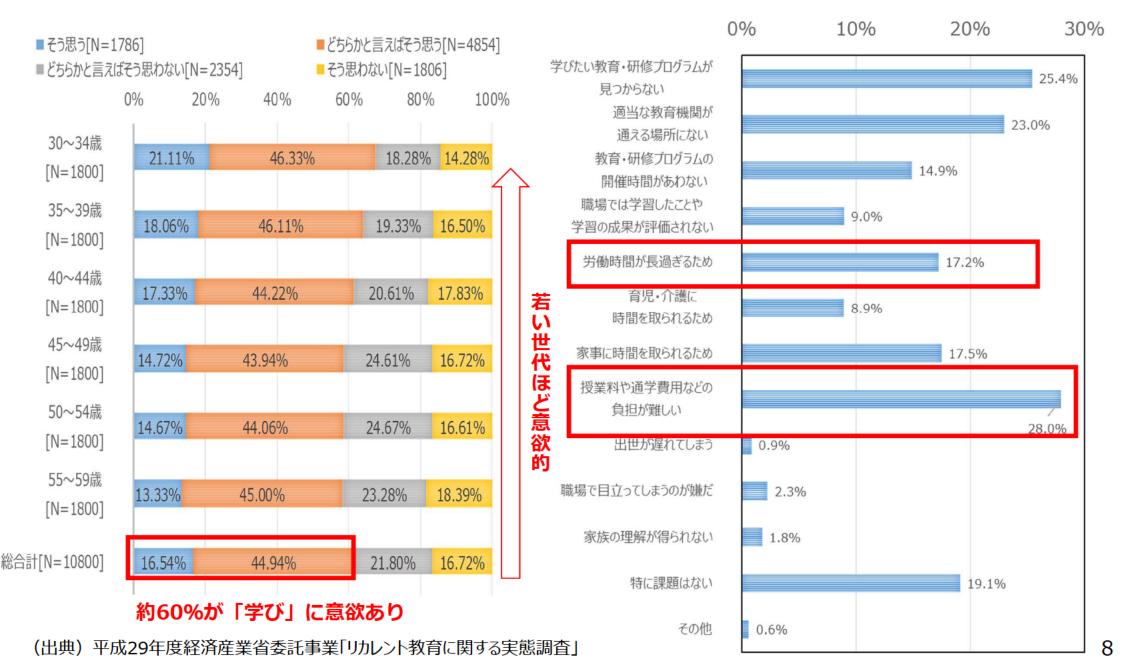
問. 人生100年時代の中で、生涯活躍するために、何歳くらいをスタート地点として次のキャリアを見据えた学び直しに取り組むことが望ましいですか。 (n=1307)



出所:平成29年度産業経済研究委託事業(労働市場における最新技術の活用状況と企業動向等に関する調査)(経済産業省

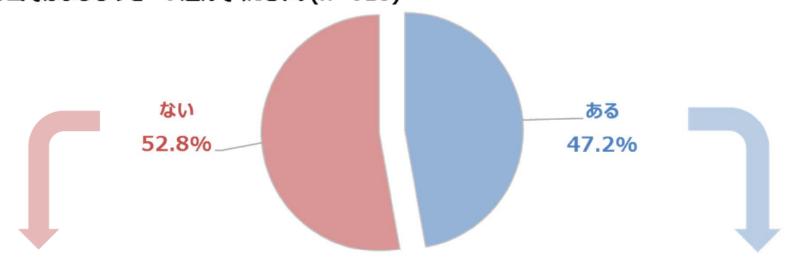
## どのように学ぶか 若いほど「学び直し」に意欲的だが、長時間労働や費用負担に課題。

問. 現在の仕事、もしくは今後就く可能性がある仕事に関連する知識・ スキル・経験を蓄積・向上するために、もっと学びたいと思いますか。 問. 今後、ある程度まとまった時間(例えば年間120時間以上)自発的に学習する場合、課題と感じることはありますか。(いくつでも)

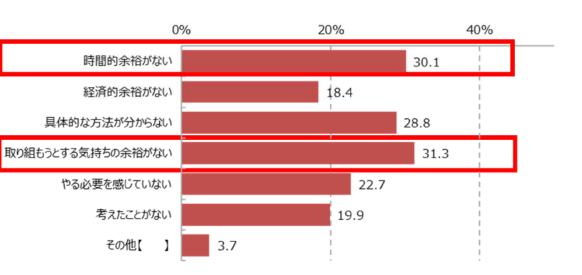


# どう活躍するか 「実現したい仕事」や「キャリアへの希望」があるのはわずか半数。 希望がない理由として、時間的・心理的余裕がないという回答が多い。

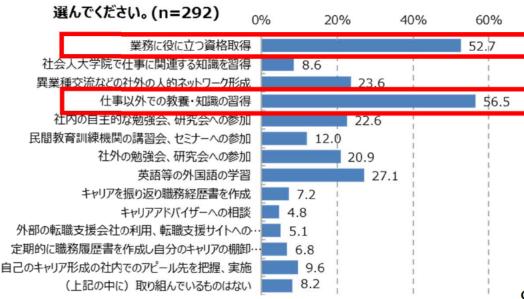
問. あなたは現在の勤務先で働き続けるかどうかに関わらず、5年後、10年後に実現したい仕事やキャリアへの希望がありますか? 以下のうち当てはまるものを一つ選んでください。(n=618)



問. 5年後、10年後に実現したい仕事やキャリアへの希望がない理由は何ですか? 以下の中から当てはまるものを全て選んでください。(n=326)



問. あなたの5年後、10年後に実現したい仕事やキャリア形成に向けた取り組み についてお伺いします。以下の中からあなたが現在取り組んでいるものを全て



## どう活躍するか キャリアを企業に依存できないフリーランスは「セルフブランディングカ」が高い。

● 仕事に対する意識における会社員とフリーランスとの差異として、「**セルフブランディング**」に関する意識の差が顕著であり、企業に依存していないが故に、フリーランスは高い意識で仕事に取り組んでいる。

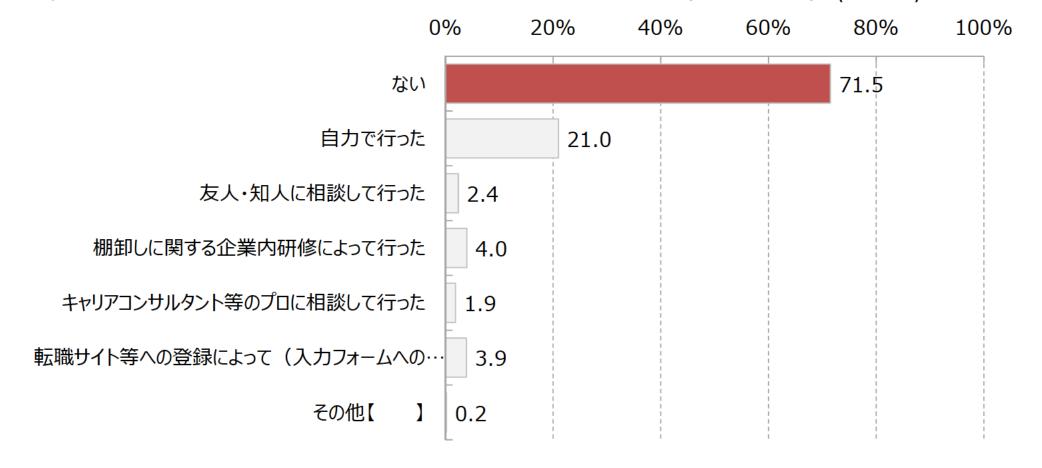
#### 問、現在の働き方を続ける/成功させる上で重要だと思うものをお答えください。(いくつでも)



## リフレクション 7割の働き手は、「キャリア・スキルの棚卸しをしたことがない」。

7割の働き手は、「自分のキャリアやスキルを棚卸しした経験がない」。残りの2割は自力で棚卸ししているが、 研修等の機会に恵まれている割合は極端に少ない。

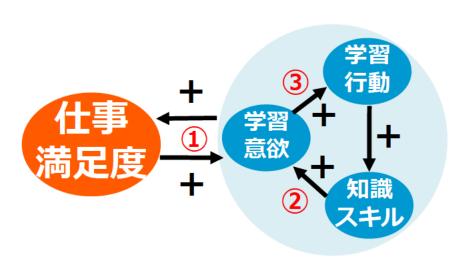
問. 現在、自分のキャリアやスキルについて、棚卸し(これまで携わってきた全ての仕事、身に付けた全てのスキルについて書き出し、整理すること)をしたことがありますか。 ※棚卸しを行った方は、実施した手段を全てお選びください。(いくつでも)(n=1307)



出所:平成29年度産業経済研究委託事業(労働市場における最新技術の活用状況と企業動向等に関する調査)(経済産業省)

#### リフレクション 自己認識する「知識・スキル」が高い人は、「学習意欲」も「仕事満足度」も高い。

● 「知識・スキル」「学習意欲」「学習行動」に正の相関。これを「学びの循環の3要素」と定義。3要素は、学習 意欲を中心に、仕事の満足度と関係することが確認できる。



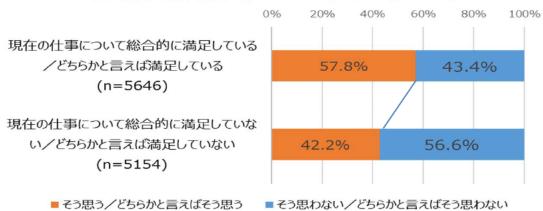
#### ②学習意欲と知識・スキルとの関係

問) 現在の仕事、もしくは今後就く可能性がある仕事に関連する知識・スキル・経験を蓄積・向上するために、もっと学びたいと思いますか。



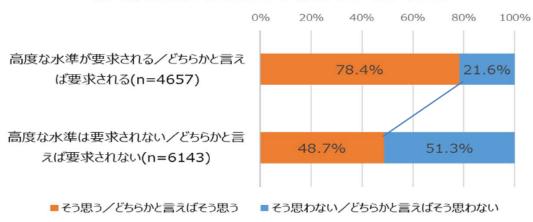
#### ①学習意欲と仕事満足度との関係

問) 現在の仕事、もしくは今後就く可能性がある仕事に関連する知識・スキル・経験を蓄積・向上するために、もっと学びたいと思いますか。



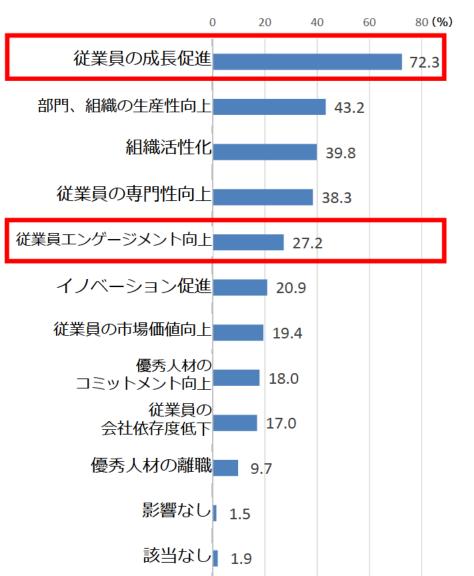
#### ③学習意欲と学習行動(仕事の難易度)との関係

問) 現在の仕事、もしくは今後就く可能性がある仕事に関連する知識・スキル・経験を蓄積・向上するために、もっと学びたいと思いますか。

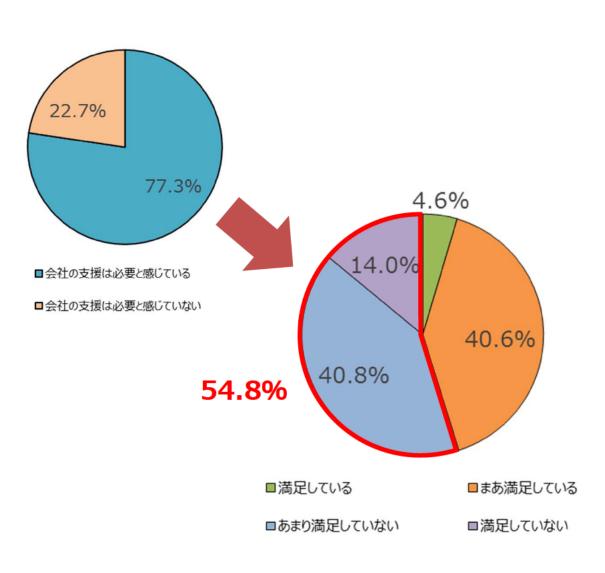


# 企業と個人の関係 企業は働き手に対し、キャリア形成支援により「成長が促され」、「エンゲージメントが高まる」と期待。一方で、働き手の半数近くは「企業の取組に満足していない」。

問.(企業の部長級職向け)従業員の自律的キャリア形 成を支援する取組みは、あなたの部署にどのような影響 をもたらすと思いますか。(いくつでも)n=206



問. あなたは、あなたの自律的なキャリア形成・自己啓発に対して会社の支援を必要としていますか。必要としている場合、今の支援には満足していますか。(当てはまるもの一つ)n=618



出所:経営革新と「稼ぐ力」の向上に向けた仕事とキャリアの管理に関する調査研究((一財) 企業活力研究所)